

2023年度ディプロマポリシーに関連した能力に関するループリック調査

対象：商学部4年次（卒業許可者）

2020年度入学（1年次）・2022年度入学（3年次編入）

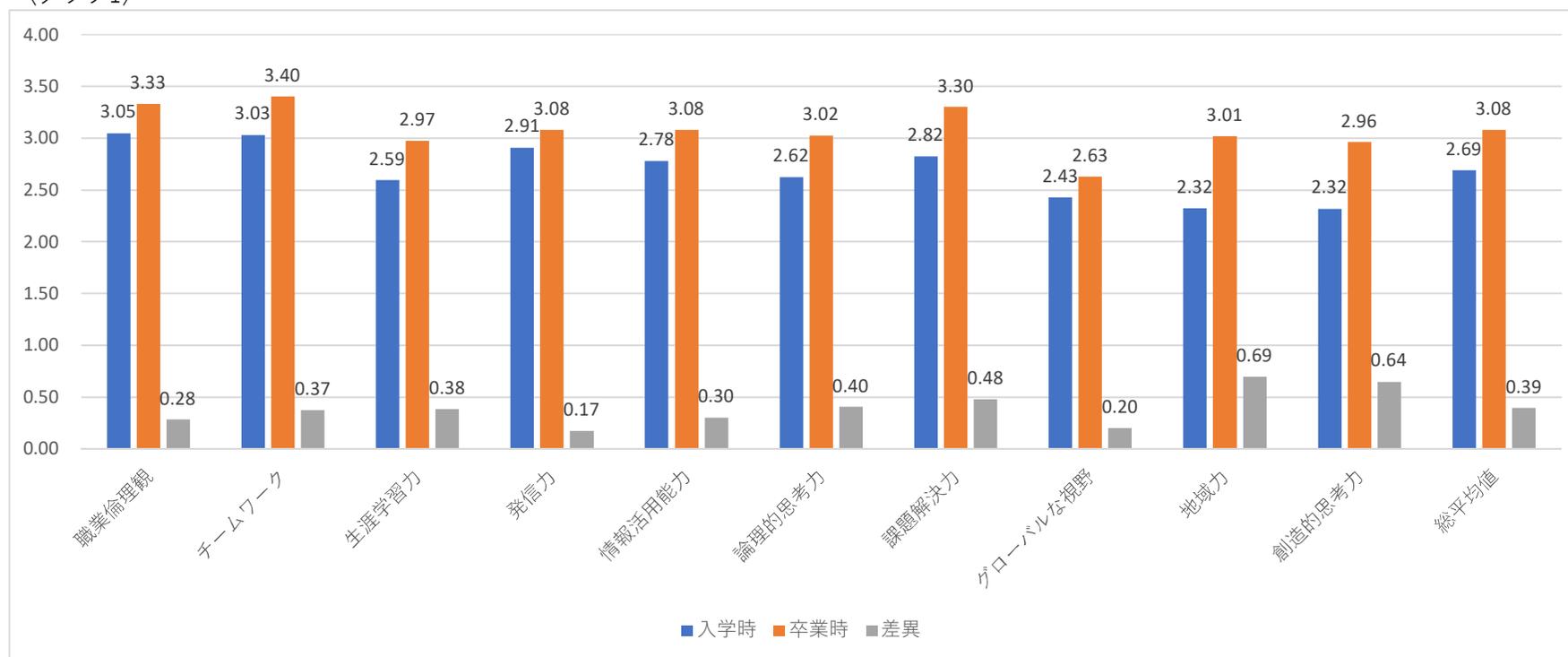
アンケート実施期間：入学時2020年4月・卒業時2024年1月

アンケート回答率：100%（205名/205名）

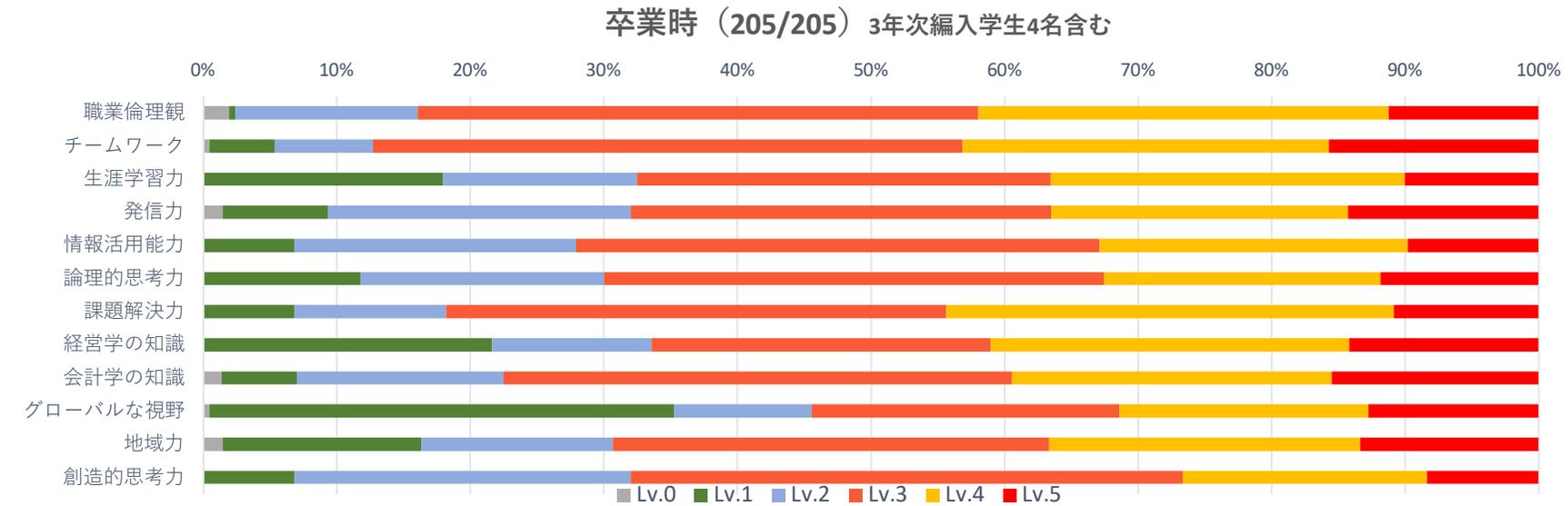
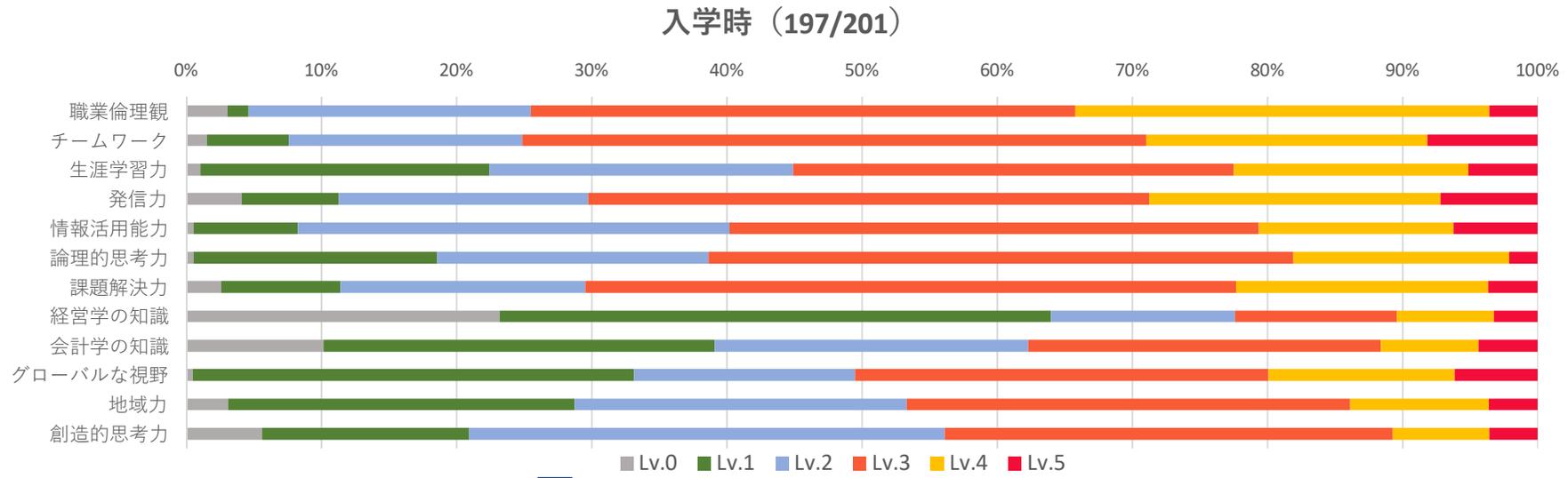
商学部全体

	職業倫理観	チームワーク	生涯学習力	発信力	情報活用能力	論理的思考力	課題解決力	グローバルな視野	地域力	創造的思考力	総平均値
入学時	3.05	3.03	2.59	2.91	2.78	2.62	2.82	2.43	2.32	2.32	2.69
卒業時	3.33	3.40	2.97	3.08	3.08	3.02	3.30	2.63	3.01	2.96	3.08
差異	0.28	0.37	0.38	0.17	0.30	0.40	0.48	0.20	0.69	0.64	0.39

〈グラフ1〉



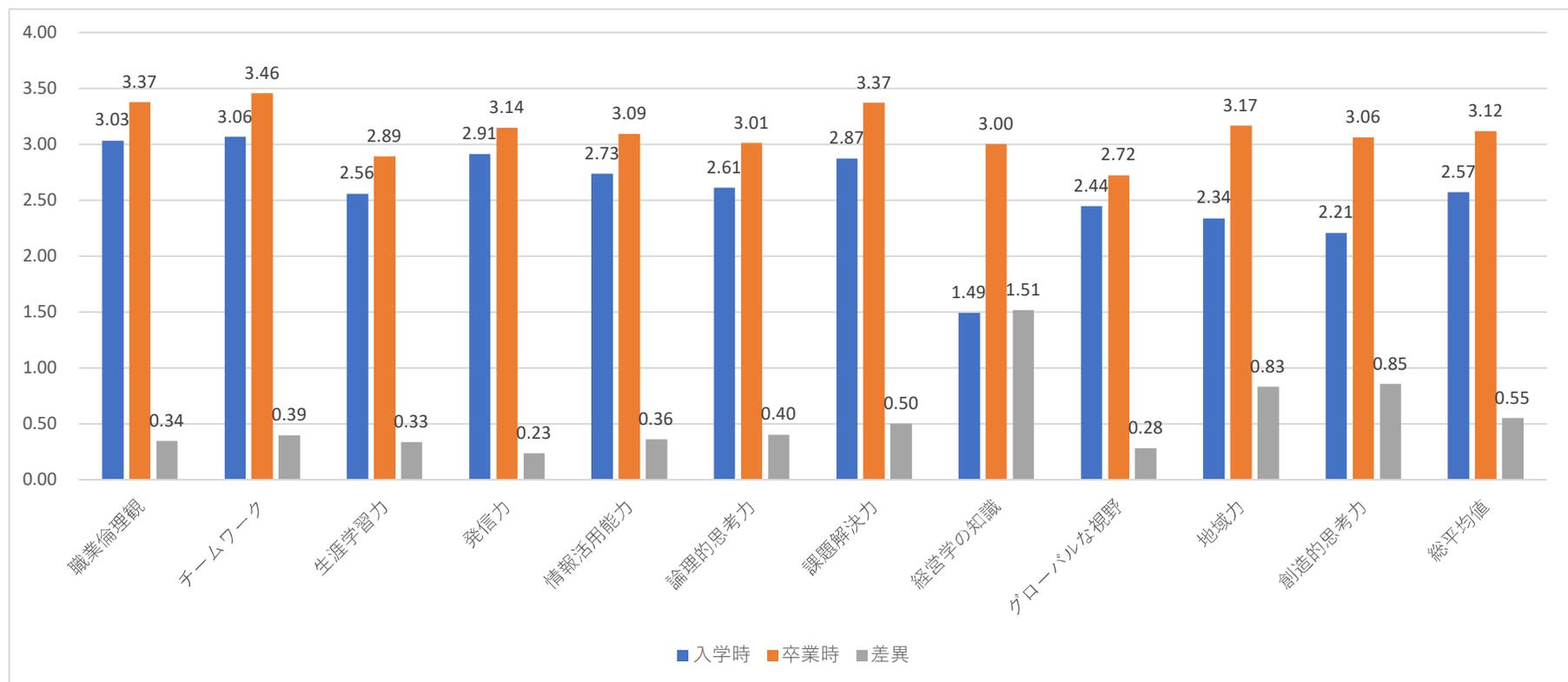
〈グラフ2〉 割合比較 商学部全体（暖色系はレベル3～5、寒色系はレベル0～2）



経営学科

	職業倫理観	チームワーク	生涯学習力	発信力	情報活用能力	論理的思考力	課題解決力	経営学の知識	グローバルな視野	地域力	創造的思考力	総平均値
入学時	3.03	3.06	2.56	2.91	2.73	2.61	2.87	1.49	2.44	2.34	2.21	2.57
卒業時	3.37	3.46	2.89	3.14	3.09	3.01	3.37	3.00	2.72	3.17	3.06	3.12
差異	0.34	0.39	0.33	0.23	0.36	0.40	0.50	1.51	0.28	0.83	0.85	0.55

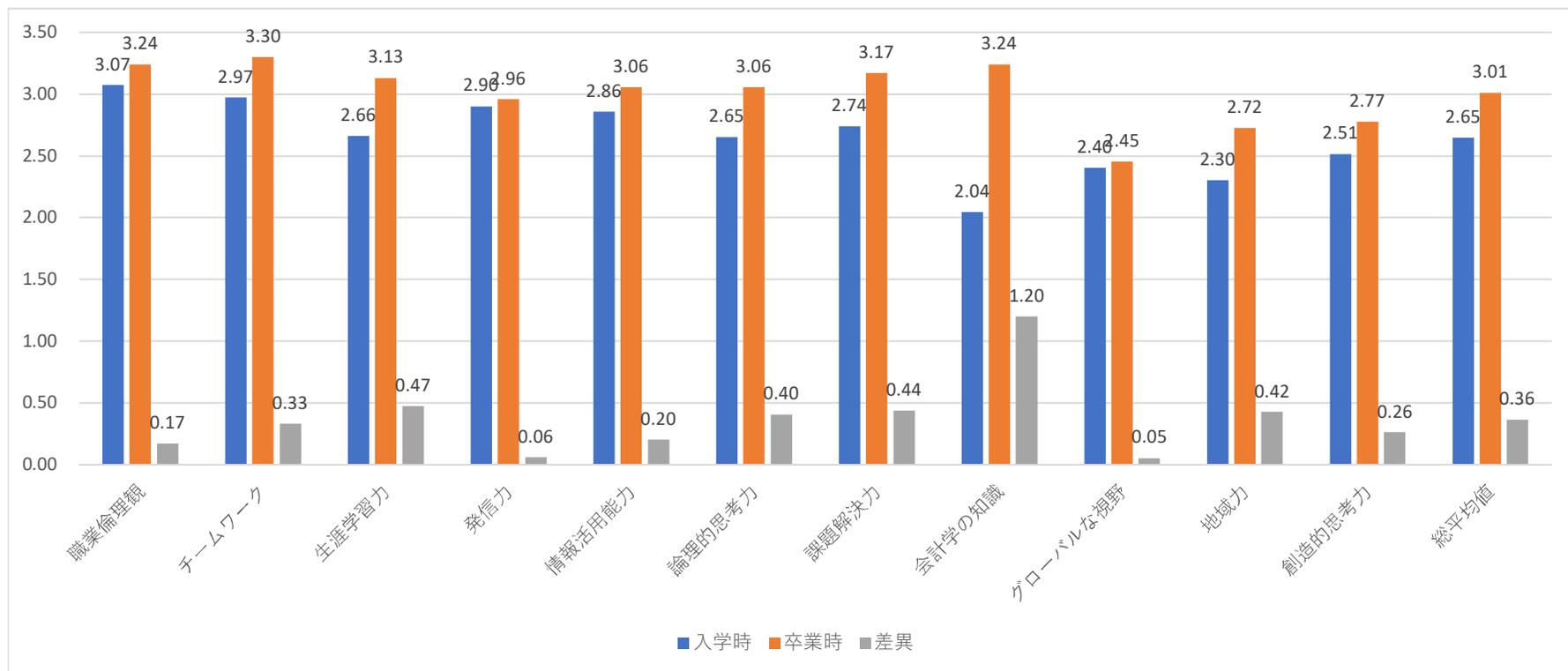
〈グラフ3〉



会計学科

	職業倫理観	チームワーク	生涯学習力	発信力	情報活用能力	論理的思考力	課題解決力	会計学の知識	グローバルな視野	地域力	創造的思考力	総平均値
入学時	3.07	2.97	2.66	2.90	2.86	2.65	2.74	2.04	2.40	2.30	2.51	2.65
卒業時	3.24	3.30	3.13	2.96	3.06	3.06	3.17	3.24	2.45	2.72	2.77	3.01
差異	0.17	0.33	0.47	0.06	0.20	0.40	0.44	1.20	0.05	0.42	0.26	0.36

〈グラフ4〉



《所見》

このルーブリック調査は、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に関連する能力・知識をルーブリックの形式で、入学時と卒業時に学生自身が自己評価したもの。

商学部全体では、入学時にレベル3.0台が10項目中2項目であったが卒業時には7項目まで増加し、総平均値で0.39ポイントの上昇がみられた。また〈グラフ2〉の割合比較からもわかるように、入学時のレベル4～5の人数が、卒業時にはおよそ2倍に増加し、全体的に底上げされた。能力の向上を実感する学生が多くいることが読み取れ、本学の教育プログラムの効果があったと言える。特に「経営学の知識」「会計学の知識」については、入学時レベル1.49（経営）、2.04（会計）から、レベル3.0以上まで引き上げることが出来、それぞれの専門性を備えた人材を地域に輩出することができたと考えられる。一方で「グローバルな視野」では卒業時レベル2.63と10項目の中で最も低く、伸び率も2番目に低かった。2020年度入学生は、入学当初よりコロナ禍の影響を受け、2年間渡航を伴う海外プログラムが開催できなかったのも大きな要因ではないか。その影響からか海外への関心も低く、在籍していた4年間で、渡航を伴わないオンラインの国際交流プログラムに2名、再開した渡航プログラムに参加したのが4名と全体の3%にも満たなかった。価値観の異なる人々と協働する機会が急増し、戦略の立案や商品開発などグローバルな視点が求められる社会で、商学部としてグローバル人材の育成は必須である。グローバルな視野を養うカリキュラムの構築や課外プログラムの充実を進めていきたい。

経営学科では、「経営学の知識」他、「地域力」「創造的思考力」のポイントの伸び率が高かった。経営学科では、1年次よりフィールドワークやビジネスにおける課題解決を実践的に取り組む機会が多いため、企業や地域の方との関わりを通して、これらのスキルが養われたと考えられる。しかし「生涯学習力」については、卒業時の数値がレベル3.0を下回る。「生涯学習力」は、将来の予想が困難な時代のなかで、定期的な学びのアップデートが必須であり重要な能力である。探究心をもって知識を追究し、技術、能力を高めようとする姿勢は4年間を通して培われるものであり、1～4年のゼミを中心に、学びに対する意識の向上を図っていきたい。

会計学科では、「会計学の知識」が入学時レベル2.04から卒業時レベル3.24まで飛躍的に上昇しているのが特徴である。会計学科は入学時より、会計学に対する明確な目標（資格等）を立てて学修に取り組んでいる学生が多いため、会計学の専門性が特に高まっていると言える。実際に2023年度卒業生は、日商簿記1級の保有率21%、日商簿記2級の保有率65%であった。一方で「発信力」の伸びが0.06ポイントと低いことは問題である。

「発信力」は、自分の意見や考えを分かりやすく伝える能力であり、経済産業省が提唱する「社会人基礎力」12の能力要素の1つとなりビジネスにおいても重要なスキルである。授業運営において、グループワークにおける発表やプレゼンテーション等のアウトプットの機会を増やすだけでなく、学生が発信することに対し自信を持って積極的に取り組めるよう工夫をする必要がある。